

正誤表 (2026 年 1 月 31 日現在)
『臨時増刊 第 3 号 改訂 3 版 (2021 年) 臨床化学』

この度は、上記書籍をご購入いただきましてありがとうございました。
以下の箇所に関して誤りがありましたので、ここに訂正とともに深くお詫び申し上げます。

頁	訂正箇所	誤	正
1	1. ピペットの使い方	<u>メスシリンダー、ピペット、ビュレットは出用量器である。</u>	<u>メスシリンダーは受用量器、ピペット、ビュレットは出用量器である。</u>
4	図 14 少量採取の洗い込み法		削除
5	c. 注意点	2) <u>少量採取の洗い込み法</u> 少量 (0.1~10 μ L 位) の採取液体を他の容器の液体中に排出する場合は、排出後、チップ内の試料を洗い込むことで高い精度が得られる (排出→吸引→排出を繰り返す) (図 14)。	削除
34	【60 回 (午前) 問題 38】	血漿アンモニア窒素濃度 A (μ g/dL) を血漿アンモニア濃度 B (<u>\squareg/dL</u>) に換算する数式はどれか。 【解説】 血漿アンモニア濃度 B (μ g/dL) = B (<u>\squareg/dL</u>) $\times 17/14$	血漿アンモニア窒素濃度 A (μ g/dL) を血漿アンモニア濃度 B (<u>μg/dL</u>) に換算する数式はどれか。 【解説】 血漿アンモニア濃度 B (μ g/dL) = B (<u>μg/dL</u>) $\times 17/14$